



【読書】キャラクター「おっほん」

おっほんシート

札幌市立藤の沢小学校

読書センターとしての機能

■「朝読書活動」

本校では毎週火曜日と木曜日の朝は「朝読書」の時間としています。

1日の学校生活を落ち着いてスタートするための取組として大変充実した活動になっています。また、ブロックごとに担任による本の読み聞かせ活動を行っています。

そのような読書活動を支えているのが、学校図書館です。子どもたちは中休みや昼休みにたくさんの本を借りたり、読んだりしています。

昨年度は年間で 100 冊以上も本を借りた子が全校児童92人中、19人もいるなど、以前より倍以上になるなど、子どもたちが読書に親しむための大切な場所になっています。



学習センターとしての機能

■「1 年生活『なかよくなろうね 小さなともだち』」

1年生が学校の周りで捕まえた虫の中から、育てたい虫を選び、すみかを作ったり、えさをあげたりとお世話をする学習です。

どんなものを食べるのか、どんなすみかがいいのかについては、生活科の教科書にも載っていましたが、載っていない虫もありました。

そこで、「図書館に図鑑があるよ。」「育て方の本があるよ。」と伝えると、子どもたちは、その虫のページを探し出しました。育てる虫のために、図鑑や本を使って、必要な情報を得ようとする姿が見られました。



情報センターとしての機能

■「1 年国語

図書貸出オリエンテーション」

毎年1年生が入学すると、開放図書ボランティアの方々が中心になって、図書の貸出オリエンテーションを行ってくださっています。「こんな面白いような本があるよ」「学校の本は大切にね」と、本の扱い方や探す方法についてもお話してくれます。

図書館で本に触れるのが楽しい、本を探すのが楽しい、本をたくさん読みたいという気持ちになるように、利用指導を重ねていきます。

